

各団体会長様
事務責任者様

足立区剣道連盟
会長 佐藤 清春

「大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」

東京都剣道連盟の「大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」(令和2年10月21日付)に準じ、今般、足立区剣道連盟(以下「連盟」という)の「大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」(以下「大会ガイドライン」という)を次のとおり定め、これを遵守し、多くの方が安心して試合をし、観戦できるよう安全・安心な大会の運営・実施する。

大会ガイドライン

【大会を開催するにあたって】

1. 連盟および各団体は、大会を開催するにあたって、選手、審判員、係員ならびにすべての関係者に対し、この大会ガイドラインの内容を周知徹底させる。
2. 選手はもとより、審判員、係員等すべての関係者は、この大会ガイドラインを遵守して、安全・安心な大会の運営・実施に努める。また感染症の状況や大会会場が所在する都道府県施設の方針を遵守する。
3. 連盟は、大会スケジュールを策定するにあたって、入場・受付の密集を避けるため受付時間を幅広く取る、トイレ・休憩室の密集を避けるため休憩時間を長くとる。
4. 連盟は、観戦者が入場できる大会以外、選手および関係者以外(例えば、付き添いや見学者)は大会会場施設に入場させない。
5. 選手および関係者は、大会ガイドラインを遵守し安全な大会の運営遂行に協力する。
6. 観戦者を入場させることができる場合は、人数制限等施設側の方針に従う。また、観覧席を一席以上空けて使用するなど密にならないようする。
7. 観戦者を入場させることができる場合は、大会要項に明示する。また、施設の入数制限がある場合は、団体ごと等に観戦者入数制限を設ける。
8. 大会等に使用する体育館と人数制限・・・都・区の指示により見直す

(入数制限はR2.10.1現在)

| 大会名 | 使用体育館 | 観覧席 有 無 | R2.10.1 入数制限 | 連盟の 対 応 | 備 考 |
|----------------|----------|------------|-----------------|------------|----------|
| ジュニアスポーツ少年剣道大会 | 東京武道館 | 有※ | 1000名 | 選手+α | αは団体毎に割当 |
| 少年錬成大会&団体親善大会 | 総合スポ大体育室 | 有※ | 200名 | 選手+α | 〃 |
| ジュニア育成大会 | 総合スポ大体育室 | 有※ | 200名 | 選手+α | 〃 |
| 都大会予選会 | 総合スポ大体育室 | 有※ | 200名 | 選手+α | 〃 |
| 3段以下審査会 | 総合スポ小体育室 | 無 | 70名 | 無観客 | |
| 区剣道祭&形演武大会 | 中央本町体育館 | 無 | 100名 | 無観客 | |
| 区民大会 | 竹の塚体育館 | 有 | 100名 | 無観客 | |

有※は、試合会場への入場は「付添票」の携行者のみに限定する。

【大会出場および運営にあたって】

I. 体況等について

| | 留意事項 | 備考 |
|---|--------------------------------------|---|
| 1 | 以下に該当する者は出場（関係者は参加）できない。 | ※基礎疾患のある者とは、「糖尿病・心不全・慢性閉塞性肺疾患（COPD）透析を受けている方や、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう。 |
| | (1)※基礎疾患のある者 | |
| | (2)発熱のある者(個人差があるが、一般的に37.5度以上ある者をいう) | |
| | (3)咳・咽頭痛など風邪のような症状がある者、その他体調が良くない者 | |
| | (4)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 | |
| (5)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 ※観戦者に対しても遵守するよう協力をお願いします。 | | |

II. 体調等チェックについて「施設利用者体調等チェックシート」は足立区よりの指示事項

| | 留意事項 | 注意事項 |
|---|---|---|
| 1 | ・選手、関係者および観戦者（選手付き添いのための試合会場への入場する者のみ）は、大会当日に自宅等で検温を行い、「施設利用者体調等チェックシート（選手・関係者・観戦者用）」（以下「チェックシート」という）に、氏名、住所、連絡先電話番号及び当日の体温等を記録し、大会会場に持参する。 | 別紙「施設利用者体調等チェックシート」を受付時提出する。 |
| 2 | ・選手は、面マスク(または家庭用マスク)を持参し、着用を義務とする。 (1)試合時は、 <u>面マスク(家庭用マスクでも可)</u> とシールド(口：個別型)を着用する。 基本の部(ジュニア大会)は面マスク(家庭用マスクでも可)着用する。 (2)それ以外には、①開、閉会式中②試合開始までの待機中は面マスク(または家庭用マスク)の着用する。 ・関係者は会場内で常時マスクを着用する。 ・観戦者にも大会会場内での常時マスクの着用するよう協力を求める。 | ※当連盟は、実技審査時はマスクとシールド(口：個別型)を着用とする。別添①②必ず、 <u>シールド(口：個別型)</u> を面に装着しておくこと。 |

【大会会場への入場、更衣、受付】・・・東京都・区の観覧席・施設等定員数に従う。

| | 留意事項 | 注意事項 |
|---|--|--|
| 1 | 大会会場入口にアルコール除菌液が設置されているので、選手、関係者および観戦者は入場の際、手指消毒を行なう。 | <u>大会会場とは体育館をいう。</u> |
| 2 | (1)選手、関係者および観戦者は、非接触型温度計で検温を受ける。 また、選手、関係者および観戦者（選手付き添いのための試合会場への入場する者のみ）は「チェックシート」を係員に提出する。 (2)受付は、代表の責任者が密にならないよう1mごとにならび受けを行なう。選手および観戦者の「チェックシート」を提出し、所定数の「付添票」の交付等を受取る。 (3)観戦者は、団体ごと等に入数制限を設け、所定数以外は入場できない。 (4)観覧席での更衣は、密にならないよう注意し、お互いに密接での会話は厳禁とします。 | ・靴入れのビニール袋は必ず持参する。 ・観戦者数は予め団体ごとに決め連絡する。 ・係員は所定のベストを着用すること。 |
| 3 | 各団体観戦者は、観覧席で密にならないよう注意・指導をお願いします。 | |

【試合会場での留意事項】・・・東京都・区の観覧席・施設等定員数に従う。

| | 留意事項 | 注意事項 |
|---|--|---|
| 1 | 選手および関係者は、フィジカル・ディスタンス(人と人の距離、最低でも1m)を常に保つようにする。 | 試合会場とは 試合を行なう場所をいう。 係員は、適切に密にならないよう誘導、注意喚起を行なう。 |
| 2 | 選手は、試合会場では、試合時を除いて常にマスクを着用する。 審判員はマスク、係員はマスクおよびフェースシールドを着用する。 | |
| 3 | 選手および関係者は体温測定を受ける。 係員は、非接触型体温計等により、選手、関係者の体温測定を行ない、「チェックシート」を受取り、内容を確認する。 | 体温測定により 37.5度以上ある者は、入場できない。 |
| 4 | ・ジュニア大会等の選手付き添いのための試合会場への入場者数は、団体ごとに決め、試合会場への入場には「付添票」を必ず携帯すること。「付添票」を携帯していない場合は入場出来ない。 ・付添い者は「付添票」を携帯していれば任意とするが当該者は、必ず当日「チェックシート」を提出する。 | 付添票の交付は試合会場の入場制限により団体ごとに決定する。 |
| 5 | 試合場係員は、選手の集合は必ず1メートルは間隔を空け並ばせる。 | |

【暫定的な試合・審判の方法】

| | 留意事項 | 注意事項 |
|---|---|--------------------------|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、暫定的な試合・審判法を実施する。 | |
| 2 | 試合時間の短縮、延長戦は時間を区切って行ない休憩を取る。 | |
| 3 | 試合者は、極力鏝ぜり合いを避け、またはすぐ分かれるよう努力する。 | |
| 4 | 審判員の試合場への入退場の際は1メートル以上の間隔を空け、副審は試合開始線の外側を通り、定位置にまで進む。 | <u>合議も密接せず</u> 、間隔に注意する。 |
| 5 | 審判員は、試合時マスクを着用し、使用した審判旗はその都度各自除菌し納める。 ※審判員控席の間隔も広くとる | 試合場ごとにアルコール除菌液を設置する。 |
| 6 | 団体戦の整列方法は「1チームの場合」の整列方法で行なう。 (選手の間隔を1メートルは空ける。) | 2チームは並ばせない。 |

【その他】

| | 留意事項 | 備考 |
|---|--|-------------------|
| 1 | 審判会議室や審判控室は密集状態にならないよう配慮する。 | |
| 2 | 係員は、マスクを着用のうえ、連盟が準備するフェースシールドを着用する。 | |
| 3 | 連盟は、多くの人に触れる用具、箇所(ドアノブなど)を消毒する。 また、審査会場内の出入口にアルコール消毒液を設置する。 | 大会終了後使用施設の消毒を行なう。 |
| 4 | 選手、観戦者は、食事の空箱等、持参した物、ごみは、必ず持ち帰る。 | |
| 5 | 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。 | |
| 6 | 選手、関係者、観戦者は、靴入れのビニール袋を必ず持参する。 | |
| 7 | 熱中症にも十分注意する。選手は十分に水分補給を行なう。 | |

以上

コピーして使用する

※審査当日に必ず持参する。

選手・関係者・観戦者用

施設利用者体調等チェックシート

施設を利用される方は、以下の項目にチェックをお願いします。なお、チェック項目に「有」の該当がある方は施設のご利用をお控えください。

(当日および利用前2週間における以下の事項の有無)

有 無

- 平熱を超える発熱
- せき、のどの痛みなど風邪の症状
- だるさ、息苦しさ
- 嗅覚、味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある

※児童(中学生以下)の場合、保護者の認印またはサインをお願いします。

令和 年 月 日

| 所属団体 | お名前 | 住 所 | 連絡先 電話番号 | 当日の体温 |
|------|-----|-----|-------------|-------|
| | | | | ℃ |

※当日の体温を計り、必ずご記入ください。

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました氏名と連絡先は新型コロナウイルス感染拡大防止対策以外の目的には一切使用いたしません。なお、本施設利用者の感染が確認された場合は、必要に応じて保健所等の公的機関への情報提供をし、感染拡大防止対策を講じることをご了承ください。

※このチェックシートは1か月後に廃棄いたします。

足立区剣道連盟

足立区地域のちから推進部スポーツ振興課

足立区

別添①

今回使用した「面マスク」の一例

手ぬぐいを用いる

手ぬぐいを二つ折にする

その上部に紐を縫い付ける
紐の長さは、てぬぐい全体の長さ
(紐は古い手ぬぐいを割いて作ることが可能)

吐息は下と側方へ逃げる

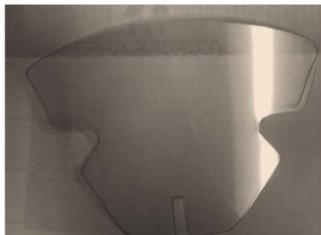
これを顔に巻き付け、頭の後ろで紐をしぼり固定する

この方法だと、吐息は面マスクから下と側方に向かって逃げるので、競技者は息が苦しくならず、飛沫の多くは下の手ぬぐい部分に吸着される。稽古が終わったら、すぐに外してビニール袋に入れ、洗濯するまでは触らない=感染防止対策

シールドの一例

別添②

一体型



眼：個別型



口：個別型



面の内側から物見を中心にしてさらに口を中心にしてシールドをはめ込む